

視察調査・研修会等報告書

令和 6年 3月 22日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様

議員氏名(細野大樹)



研修・視察年月日	令和 5年 7月 12日
研修会場・視察先	秋田県大仙市
研修名・視察目的	スマート農業について
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	農業振興課 課長 杉山真矢 農業振興課 担い手支援班班長 高橋正人 大仙市農業振興情報センター所長 谷口 藤美
参加議員(同行者)	橋本守行 小林英恵 渡辺一男
調査概要	農業従事者の高齢化及び減少に伴い、大仙市は担い手不足対策として新規就農者支援及び農業後継者対策に積極的に取り組んでいる。 また大企業である株式会社クボタ及びその子会社である秋田クボタと連携協定を締結して、スマート農業の取り組みを進めている。それぞれの事業内容について調査を行った。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	小山市の農業の後継者不足も本当に深刻であるため、新規就農者支援及び後継者対策は市としての急務であると考えている。またスマート農業は少ない人数で効率的に農業を営むうえで今後欠かせない事業であることが分かった。近隣では茨城県の下妻市がやはりクボタと連携してスマート農業に取り組んでいるようだが、小山市でも今後同様の連携を提案していきたい。

視察調査・研修会等報告書

令和 6年 3月 22日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様

議員氏名(細野大樹)



研修・視察年月日	令和 5年 7月 13日
研修会場・視察先	岩手県北上市
研修名・視察目的	企業誘致について
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	企業立地課 課長補佐 奥山 大輔
参加議員(同行者)	橋本守行 小林英恵 渡辺一男
調査概要	北上市は一次産業、二次産業、三次産業の比率が小山市と非常に似通っており、市内に約 10 ヲ所存在している工業団地には約 300 社の企業が工場等を置いている。また現在でも企業誘致を積極的に進めていることから、小山市の企業誘致の今後を考えるにあたって北上市の取り組みを調査した。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	小山市も工業団地造成により企業誘致を積極的に進めているが、北上市は漠然と企業を誘致するのではなく、その自然環境や立地条件等を生かせる企業に絞った企業誘致を進めていた。例えばきれいな水を利用したフラッシュメモリーの製造企業としての株式会社キオクシアの誘致等である。このような立地条件等を生かしてのある程度条件を絞った企業誘致は小山市の今後の発展を考えるに有効であると考えている。

視察調査・研修会等報告書

令和 6年 3月 22日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様

議員氏名(細野大樹)



研修・視察年月日	令和 5年 7月 14日
研修会場・視察先	秋田県能代市
研修名・視察目的	学力向上の取り組みについて
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	学校教育課 課長 安部 芳幸 学校教育課 参事 三洲 龍太
参加議員(同行者)	橋本守行 小林英恵 渡辺一男
調査概要	秋田県は子供の学力が非常に高い県として有名であるが、その中でも能代市は探求型授業や新人教職員へのきめ細やかなサポートを含めて、子供の学力向上や健全な発育のために市を挙げて多くの取り組みを行っている。その事業内容について調査を行った。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	小山市は不登校の生徒児童が全国平均から見ても非常に多く、また現場の教職員にお話を伺っても新人教員等の指導力に不足があるなど、学校教育に多くの課題が山積している。このような課題に対して能代市の取り組みは非常に参考になった。初任者研修会、不登校保護者会、生徒指導連絡協議会など、多くの取り組みは小山市でも実施することができるものであり、今後導入に向けて取り組んでいきたい。

視察調査・研修会等報告書

令和 6年 3月 22日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様

議員氏名(細野大樹)



研修・視察年月日	令和 6年 10月 12日・13日
研修会場・視察先	青森県八戸市
研修名・視察目的	全国都市問題会議
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	篠崎佳之 高橋栄 橋本守行 小林英恵 渡辺一男
調査概要	第85回全国都市問題会議は1日目「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」というテーマで青森県八戸市長を始め、長野県東御市長など、各先進地域のまちづくりの先進事例についての発表があり、また2日目には静岡県沼津市長、京都府綾部市長などの先進自治体の首長が参加した文化芸術を活用した町おこしについてのパネルディスカッションが開催された。これらの事例を調査研究することが参加の目的である。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	小山市においても人口は高齢者等の死亡による自然減が増加して、転入による社会増ではこれを賄いきれず、全国的な流れと同様に人口減少が始まりつつある。このような現状において、まちづくりにおけるプランを提示して転入者の増加を目指すことは非常に重要であり、今回のテーマである文化芸術・スポーツを基盤としたまちづくりの先進事例は今後の小山市を考えるにあたって非常に参考となった。小山市もゴールデンレース等のスポーツを活用したまちづくりはもっと積極的に進めることができると考える。今後の議会において提言していきたい。